

# 土地利用 箱根新道の 通行料について

**Q** 早朝夜間割引の導入や地域割引制度の設定などを働きかけ、住民生活の改善に助力、また、無料化については、改めて実施の確認をし、早期の実施について、町の考え方を伺う。

**A** まず、中日本高速道路(株)では、有料道路の地域住民等を対象にした割引制度は全国でも例がなく、有料道路利用者の公平性あるいは利用者の識別など、料金収納の煩雑化が考えられ、そうした制度の導入には無理があるので、利用頻度に応じた割引制度(ETCマイレージサービス)を上手に利用していただきたいのとこのことである。



須雲川インターチェンジ

次に、無料化について改めて実施の確認と早期実施についてであるが、箱根新道は昭和37年3月に有料道路として開通し、総工事費21億2千万円の費用にかかる返済計画を当初、20年と定めたが、その後、社会経済情勢の変化や地元の声を受け、町が日本道路

公団に要望し、平成7年12月に須雲川インターチェンジが完成するなど、新たな建設経費等の発生により、平成24年1月30日まで徴収期間が延長されたものである。町としては、箱根新道の無料化は観光客のみならず町民の方々にも大きなメリットをもたらすことから、昨年の秋に日本道路公団と打ち合わせを行い、分割民営化されても平成24年1月30日の無料化は、そのまま引き継いでいくと聞いており、また、中日本高速道路(株)にもお願いに行っ

# 健康福祉 箱根町の 少子化対策について

**Q** 次の2点について伺う。  
1 マタニティ・マークの啓発と推進について

**A** 1 点目について、町としては、このマタニティ・マークが妊産婦に優しい環境づくりに取り組む活動をPRするものとして、広報誌等を利用して十分に周知を図っていくことが重要と考えている。

また、妊産婦の方々が活用できるように、このマタニティ・マークの印刷物を母子手帳の交付と併わせて配付していきたいと考えている。

2 若いお父さん、お母さんに対する子育て応援対策について

イ・マークの印刷物を母子手帳の交付と併わせて配付していきたいと考えている。

2 点目について、子育て応援対策として、これからお母さん・お父さんになる方のために「新米ママ・パパの出産育児教室」を実施している。出産後の育児については、4か月、1歳6か月・3歳6か月児の健康診査、1歳歯科教室、2歳・2歳6か月・3歳児の歯科健康診査の他、ポリオなどの予防接種等を実施し、乳幼児の健康と健やかな成長を図っている。また、保健師や栄養士など

いづれにしても、箱根新道は、観光客のみならず、住民の日常生活にとっても、重要な道路であるので、その役割を十分果たすべく、また、町としても早期無料開放を望んでいるので、今後も引き続き機会を捉え、住民サービスの向上につながるような方策も含めて、お願いをしていきたいと思っっている。

この他、子育て支援センターを中心に湯本子育てサロン、さくら館及び各保育園で0歳児から就学前までのお子さんと保護者の方々を対象に親子で遊ぶ「場」の提供や、子育て相談に応じている。

いづれにしても、子育てにやさしい町づくりを通じて、今後も町の少子化対策として、子育て支援の諸事業を推進していきたいと考えている。

たところ、日本道路公団から無料化のことは、引き継いでおり、その考えは変わらないということである。

無料化の前倒しについては、これまでの経緯、さらに民営化されたことにより、大変難しいという感もあるが、今後もお引き続き粘り強く機会を捉えてお願いしていきたいと考えている。

たところ、日本道路公団から無料化のことは、引き継いでおり、その考えは変わらないということである。



による子育て相談、離乳食講習会、3歳児までのお子さんのことで悩んでいるお母さん・お父さんを対象に、子育てと一緒に楽しむ育児教室、赤ちゃんが誕生した家庭を保健師等が訪問し、育児の相談に応じる妊産婦・乳児訪問指導も実施している。